

CO₂削減! 住宅から環境の良い社会づくりに挑む!

保護者



家づくりで大切なこと

皆さんはお家で過ごす時間は好きですか? お家の中は居心地(いごち)良いですか? 冬はあたたかく、夏はすずしく、過ごせていますか? また、家の中は遊んだり、勉強したり様々な生活場面がありますが、静かに過ごしたい時、静かに過ごせるようになっていませんか? そんな住宅の過ごしやすさを「快適性」といいますが、過ごしやすい「快適な住宅」を創って住む人に喜んでもらう、住宅メーカーでの「技術開発」のお仕事をご紹介します。



住宅設計のお仕事に就くには

「住宅設計」は建築学の分野に含まれます。現在建築学を学べる大学は、建築学科は工学部、芸術学部、生活科学部、環境系学部などにて学科が設置されており、学部が多岐にわたっているようです。また、建築は大学専門課程になれば更に専攻分野が構造、計画、設備、意匠、環境、歴史などの専門分野に分かれます。快適性は、環境分野の要素が大きいです。また、住宅を設計する会社も、個人経営の設計事務所から、工務店、住宅メーカーまで規模や事業形態が様々です。将来取得する資格としては、就職をして、設計の経験をしてから「一級建築士」などの国家資格を取得します。



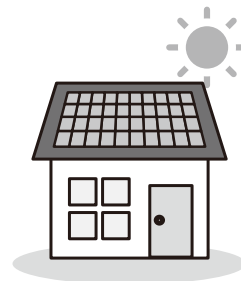
快適な家をつくるには

快適な家を作る仕事は、具体的には、住宅を冬の寒い空気や夏の暑い空気から守る「断熱材」をどこにどう入れるかを設計したり、住宅の周りの騒音や、隣の部屋からの音が聞こえにくいように壁を重くしたり、音を吸収する材料を壁に入れたりして、壁や床を設計すること、などがあります。また、住む人が快適に生活できるような将来を見据えた住まい方を研究したり、それを形にする新しい部材を開発しています。



快適な家づくりは環境にも良い

地球環境を守る、温暖化防止策としてCO₂削減の必要性が大きく取上げられています。そこで住宅では、断熱材がしっかり設計されて熱が逃げにくい「高断熱住宅」にエネルギー効率を高めた機器を使う『省エネ』と、屋根に「太陽電池」を取り付けて自然の力で発電する『創エネ』の2面から、日常の生活でCO₂を減らす取り組みが主流になっています。高断熱住宅では魔法瓶のように保温力がよくなり、暖房や冷房の電気を節約しながら快適な温度に保ち、CO₂が削減できるのです。これなら冬は気兼ねなく暖房して暖かく快適に過ごせますよね。



技術者としてのやりがい

CO₂削減は、サステナブルな社会(持続可能な社会)につながる重要な取り組みで、企業への期待と責任は年々高まっています。社会的な課題に取り組む仕事、そんな切り口も職業選びのポイントの一つです。お客様の喜ぶ技術を開発し(快適)、それが社会の役に立つ(環境)。「家は一生の買い物」であるため、良質な技術を提供し、お客様の夢の実現のお手伝いができることは、技術者として、とてもやりがいのある仕事だと考えています。



私がこの職業を選んだのは

テキスタイルデザイナーの母と橋梁技術者の父を持ち、ものづくりに昔から興味があったこと、神戸の異人館や高石市高師浜などに点在する塔があるような異人館風の古い洋館が小さい頃から好きだったこと、それから、女性で一生働くには、専門技術が必要だと当時の就職状況で思ったこと、などがきっかけです。今では、私の技術分野では男女の差はなく、むしろ実力や仕事のネットワークづくりが大切だという職場環境になっています。この職業を通じて、仲間と一緒に住宅技術でお客様の夢をどのように実現するか、そしてそれが社会貢献になっていることが、これからも腕の見せ所です。



将来の夢いっぱいの皆様へ

仕事選びは人生設計です。
自分の夢が社会にどのように
貢献するのか、を考えながら、
一生の仕事として意義を感じて
人生を歩んでいけるものを探し
てみてください。